

第3回みのかも定住自立圏構想共生ビジョン懇談会 人口・交流拡大WG部会 議事録

○日 時 平成24年3月19日(月) 午19時45分から20時20分まで

○会 場 美濃加茂市生涯学習センター202会議室

○参加者 美濃加茂市 高井俊樹 委員(部会長)
坂 祝 町 太田悟実 委員(副部会長)
七 宗 町 吉村 研 委員
八百津 町 山田直和 委員
白 川 町 藤井宏之 委員
東白川 村 杉田正和 委員

事 務 局 美濃加茂市 定住自立圏推進室 荒井 浩 室長
三品よし子

七 宗 町 企画財政課 塚本 誠
八百津 町 総務課 藤本清久
白 川 町 経営管理課 杉山哉史

欠席 川 辺 町 佐伯敏充 委員
富 加 町 熊崎満夫 委員

1 開会

部会長あいさつ

2 自己紹介

杉田委員：教育委員会で子ども会等の関係を担当している。よろしくお願いします。

藤井委員：定住自立圏は、1つの家族のようなものだと考えている。みなさんと一緒に、
家族のように盛り上げていきたいと考える。

山田委員：本業はお酒を作っている。産業分野の方が得意とするが、この分科会でもよろ
しくお願いします。

3 共生ビジョンの第3回変更案について(共生ビジョン P32~42、46~48)

事務局：ビジョンの目的、主たる変更時効を説明。「交流・共生分野」の14事業につい
て説明。

「23. 外国人の子どもに対する教育支援」について

事務局：事業説明。

「24. 図書システム広域利用環境の構築事業」について

事務局：事業説明。

「25. 生涯学習機会の充実」について

事務局：事業説明。

「26. スポーツを核とした地域活性化事業」について

事務局：事業説明。

「27. 文化公演事業」について

事務局：事業説明。

「28. 教育センターの機能強化事業」について

事務局：事業説明。

「29. 博物館施設の連携・文化財保護共同事業」について

事務局：事業説明。

「30. 不登校児童生徒の受け入れ事業」について【新規追加事業】

山田委員：八百津町からの提案事業である。自然豊かで少人数で先生の手厚い指導を受けることができる八百津の小中学校に、不登校児童生徒を受け入れたい、という思いがある。美濃加茂と、八百津では受け止め方が違っていただけか、どうか。

事務局：教育長同士や、担当者同士で協議を重ね、お互いの思いをすり合わせているところである。今後連携ができていけば良いと思う。

杉田委員：当村ではすでに不登校児童生徒の受け入れ実績（5名ほど、美濃加茂市のみではない）がある。村のプロジェクト会議にて提案したが、すでに連携しているということで、取り下げられた。

今後は里親制度を始めたいと考えており、当村もこの事業に加わることは可能である。

事務局：事業説明。

「31. エコを活用した地域循環型ビジネスの推進」について

事務局：事業説明。

「32. 公共交通連携事業」について

事務局：事業説明。

「33. 多様な広報機能の充実事業」について

事務局：事業説明。

「37. 圏域内外外国人住民とその家族への支援」について

事務局：事業説明。

「38. 多文化共生を目的とした文化交流事業」について

事務局：事業説明。

「39. 海外都市との経済交流の推進」について

事務局：事業説明。

藤井委員：参加町村は、坂祝町・川辺町のみであるが、白川町でも、イタリアや中国といった海外都市との交流をしているため、参加できるのではないかと考える。人的な交流と経済交流とは違う、ということかもしれないが。

事務局：ビジョンは毎年更新するため、今後加わっていただくことは可能である。また、

経済交流の第1歩として捉えれば、人的な交流も組み入れることは可能である。

4 ワン・ワールド委員会について

事務局：23年度の活動、総務省の地域創富力高度化調査事業「多文化共生レストラン調査研究事業」について概要説明。

部会長：ボランティアの多文化団体の方々が、連携して23年度から活動し、今後も継続していく予定である。定住自立圏の主旨に沿った「民間の方々の力を活用」して進めている。懇談会では、そういった方々の応援を積極的に行っていきたいと考える。

5 部会長挨拶

今後、素晴らしい地域をつくるために、みなさんと一緒に頑張っていきたいと考える。

6 副部会長挨拶

懇談会委員としての役割に、最初は戸惑われることもあるだろう。実際、役割も当初と変わってきている。懇談会での意見は、市町村職員におりてゆき、反映されるしくみとなっているので、意見があれば、出して頂きたい。

7 終わりに

事務局：本日いただいた意見は、調整のうねビジョンの変更に反映させていく。他にも意見等があれば、3月23日までに、お住まいの町村か美濃加茂市に連絡ください。ビジョン懇談会委員の任期が終わるが、引き続き委員を務めていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

山田委員：会議の時間が短いように感じるが、このような方法でよいのか？

部会長：具体的に事業を進めるのは市町村担当課で行い、懇談会委員のみなさんにはご意見をいただき、おおまかな事業内容について、承認していただくことをお願いしたい。